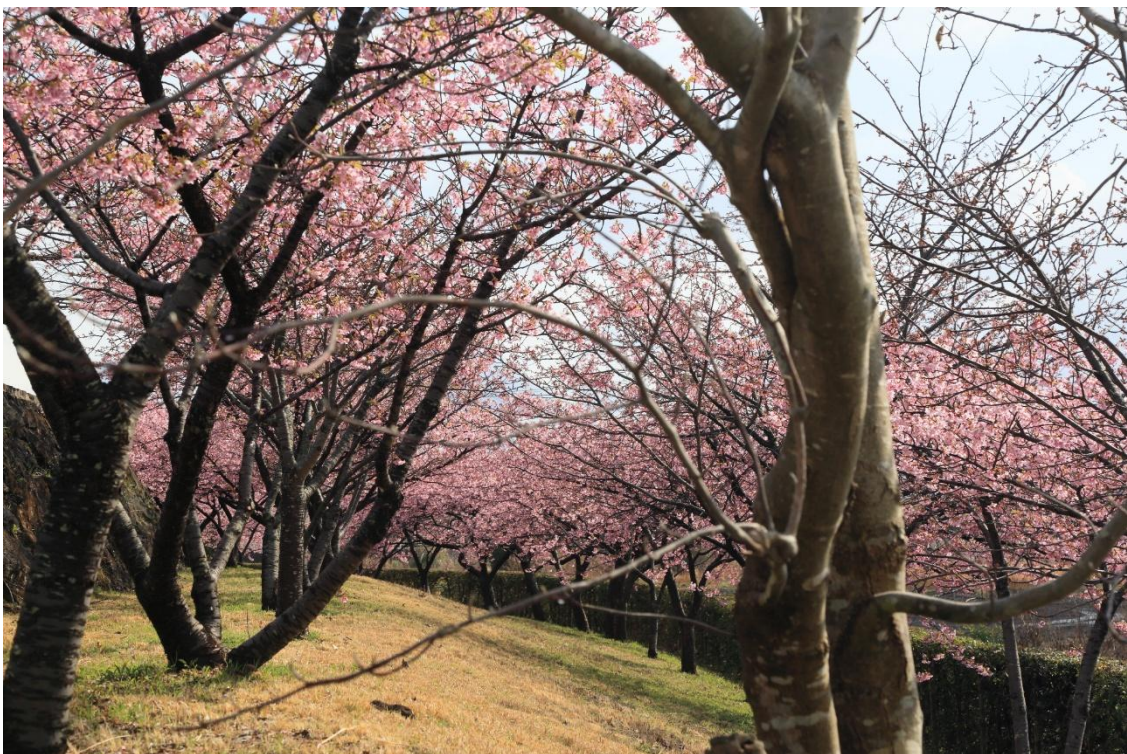




しまね情産協

2026年度春号(第 69 号)



松江市八束町の火山であった大塚山(42m)。一帯は、花木が植えられ、公園として整備されています。大塚山西側斜面にある河津桜並木は例年3月初旬満開を迎えます。大塚山公園には、このほか、中村元記念館や、中国の貴重な牡丹がある牡丹園などがあります。

新年度予算を決定

3月11日開催された令和7年度第5回理事会で、島根県情報産業協会令和8年度予算が議決されました。新年度予算は、引き続き、会員相互交流機会の創出と技術力向上のための研修機会の提供を協会活動の柱とすることにしました。内容は次のとおりです。

（事業実施方針）

島根県の情報産業は、個々の企業の業態により違いはあるものの、DX投資等があり、引き続き順調な成長を遂げている。県内各産業の動向と比較して、情報産業の成長には特筆すべきものがある。売上額など産業としての規模はまだまだ小さいながらも、すでに農林水産業のそれを超え、各産業分野のなかでも際立った成長をみせている。

DX時代到来が掲げられる今、情報産業は、生産性向上のツールであることはもとより、新たな社会・産業のイノベーションの担い手として、その役割が地域社会のなかでますます増大している。また、地域のDX化推進に関し、DXが経営や地域の運営そのものにかかわるものとなっている。

こうしたなかで、（一社）島根県情報産業協会は、協会創立以来の理念である情報関連技術の開発及び利用の促進を一層図るため、会員相互交流の機会を設けるとともに、情報関連技術力向上に関する研修を引き続き協会活動の主な柱にして、活動を行っていく。

行政に対する積極的な協力を行うことにより、施策の実施が情報産業界にとり効果的なものとなるように努める。施策提言活動を引き続き実施する。また、ソフト系IT産業支援に関する情報の収集に努め、会員へ適時適切な提供を行う。

情報産業を担う人材確保が引き続き大きな課題である。そのため、行政団体が行う関連施策の積極的な利用のほか、協会としても、高等教育機関と連携しながら、学生へのガイダンスを実施する。また、本県のIT産業の将来を担う人材育成に資するため、高校生への働きかけについては、RO1から実施しているITクラブ助成の見直しを含め、有効な方法を検討する。

会員相互交流に関しては、そのうち、講演会・交流会や親睦ゴルフ大会は、感染対策に引き続き留意しながら、鋭意取り組む。協会各委員会活動を会員交流の場と位置づけ、その活動に取り組んでいく。

令和8年度（2026年度）の人材育成研修については、引き続きオンラインによる研修やeラーニングによる研修を主たる研修方法とする。近年の受講者急増に対応できる予算規模を確保する。研修内容では、地域のDX化推進に関し、総合的なアドバイスが可能なIT人材技術者育成等に関し引き続き取り組む。

協会に設置している各委員会活動を活発化させ、協会組織運営力向上のため、役員間の情報共有と意見交換に留意し、協会運営の充実を図る。

(予算)

当初予算前年度比較

(単位千円)

| 区分 | 令和8年度当初 | | | | 前年度当初 | | | | 増減 | |
|----|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|-------|
| | 一般会計 | 特別会計 | 会計間調整 | 純計 | 一般会計 | 特別会計 | 会計間調整 | 純計 | | |
| 収入 | 県補助金 | | 6,500 | | 6,500 | | 6,500 | | 6,500 | 0 |
| | 交付金 | 300 | | | 300 | 300 | | | 300 | 0 |
| | 会費 | 6,850 | | | 6,850 | 5,730 | | | 5,730 | 1,120 |
| | 特別会費 | 1,800 | | | 1,800 | 1,120 | | | 1,120 | 680 |
| | 受講料 | | 10,700 | | 10,700 | | 9,425 | | 9,425 | 1,275 |
| | 雑収入 | 1,520 | | | 1,520 | 1,005 | | | 1,005 | 515 |
| | 繰入金 | 760 | 1,500 | ▲ 2,260 | 0 | 680 | 1,875 | ▲ 2,555 | 0 | 0 |
| | 積立取崩 | 1,500 | | | 1,500 | 1,875 | | | 1,875 | ▲ 375 |
| | 繰越金 | 1,200 | | | 1,200 | 1,100 | | | 1,100 | 100 |
| | 計 | 13,930 | 18,700 | ▲ 2,260 | 30,370 | 11,810 | 17,800 | ▲ 2,555 | 27,055 | 3,315 |
| 支出 | 会議費 | 2,600 | | | 2,600 | 2,250 | | | 2,250 | 350 |
| | 情報交流費 | 1,425 | | | 1,425 | 525 | | | 525 | 900 |
| | 普及啓発費 | 50 | | | 50 | 100 | | | 100 | ▲ 50 |
| | 人材育成費 | 200 | | | 200 | 160 | | | 160 | 40 |
| | 地域高度化 | 705 | | | 705 | 300 | | | 300 | 405 |
| | 人材育成研修費 | | 16,000 | | 16,000 | | 15,100 | | 15,100 | 900 |
| | 事務局運営費 | 5,770 | 1,940 | | 7,710 | 4,770 | 2,020 | | 6,790 | 920 |
| | 繰出金 | 1,500 | 760 | ▲ 2,260 | 0 | 1,875 | 680 | ▲ 2,555 | 0 | 0 |
| | 積立金 | 500 | | | 500 | 500 | | | 500 | 0 |
| | 予備費 | 680 | | | 680 | 830 | | | 830 | ▲ 150 |
| | 消費税 | 500 | | | 500 | 500 | | | 500 | 0 |
| | 計 | 13,930 | 18,700 | ▲ 2,260 | 30,370 | 11,810 | 17,800 | ▲ 2,555 | 27,055 | 3,315 |

R08 年度予算では、事業実施方針に基づき、委員会活動費として15万円を計上、また、新規事業対応のため普及啓発費に100万円を盛り込んだほか、人材育成研修事業（特別会計）では近年の受講者数増加に対応するため250人規模の受講が可能となるよう事業費を増額しています。

これらに必要な財源は、昨年の総会で決定した会費改定等による増収を充てることとしています。

令和8年協会新年会開催

2026（令和8年）2月4日、立春の日、松江東急エクセルホテルで島根県情報産業協会新年会を開催しました。新年会には95名の方が参加。かつてない規模の新年会となりました。

新年会は、井上浩協会代表理事の挨拶に続き、来賓の方々が紹介され、代表して、総務省中国情報通信局畠山弘之情報通信連携推進課長、経済産業省中国経済産業局清水保貴デジタル経済課長、そして、島根県議会岩田浩岳農林水産商工委員会委員長に冒頭の挨拶をいただきました。



恒例の講演会では、独立行政法人情報通信機構（IPA）平本健二デジタル基盤センター長に「変化の速いデジタル社会にむきあうために」と題した講演をしていただきました。平本氏は、講演で、変化が速いデジタル社会では、チャレンジすることが大きな意味を持つこと、チャレンジは世界を見据えたものである必要があり、それが企

業や地域の持続的発展のベースとなること、能力ある人材を抜擢し、任せることが必要であること、そのような人材の発掘育成のためにコミュニティが有用であることを強調されました。



なお、当日平本氏が使われた資料は、IPAのご厚意により、申し込みにより配布可能です。協会事務局までお問合せください。



1時間半にわたる講演の後、92名参加のもと交流会を開催しました。福光靖協会代表理事副会長の開宴の辞の後、石橋睦郎島根県商工労働部長、山根幸二松江市副市長の挨拶を頂き、長馬庭正人しまね産業振興財団代表理事理事長の乾杯

の音頭で開宴しました。





交流会のなかで、東京証券取引所スタンダード市場に新規上場された(株)テラテクノロジー宮本一成代表（協会業務執行理事）を紹介、挨拶を頂きました。



また、昨年12月にIPAと島根県は、DX推進により地域の活性化を進める協定を締結しましたが、その際、尽力いただいたIPA デジタル基盤センター企画部長下出佐政樹氏（前中国経産局地域経済部長）に挨拶を頂きました。



温かく和やかな時間が瞬く間に過ぎ、恒例と北村功代表理事副会長の音頭で、協会三役と杉原健司氏が登壇、闘魂の「ダァーッ」で締めとなりました。

立春にふさわしい新年会となりました。



島根のIT企業の今 2026 開催

令和8年となって間もなく、また、前日島根県東部を襲った震度5の地震にも拘わらず、1月8日松江市くにびきメッセで松江高専情報工学科の4年生37名を対象に協会会員社26社参加してガイダンスを開催しました。予め各社が作成した5分を超えない自社紹介動画を学生たちにYoutubeを通して公開、ガイダンス当日は、各社ブースに学生たちが着席、30分程度の時間の間問答するという形を3回繰り返して行いました。

ガイダンスはもともと松江高専が学内で実施していたもので、協会は協力していましたが、学内が手狭になってきたなどの理由で、協会が引き取り、協会主催（県協力）として平成27年度から実施しているものです。



親睦ゴルフ大会開催



協会親睦ゴルフコンペが12月6日（土）、玉造温泉カントリークラブにて19社25名参加のもと開催されました。寒気が入ってきており積雪の心配もしておりましたが、当日は天候も良く気温もゴルフに最適な一日となりました。

和気あいあいとした雰囲気の中、会員相互の親睦とお客様との交流を深め、にぎやかで楽しい一日が過

せました。

この親睦ゴルフコンペは自然の中で身体を動かし、リフレッシュしながら、お互いが面と向かって会話を楽しめる貴重な場として今後も多くの皆様にご活用、ご参加いただけるよう取り組んでまいります。

| | | |
|------|-------|------------------|
| 優勝 | 田島 享 | コミクリ |
| 2位 | 小松原 進 | オネスト |
| 3位 | 森山 昌幸 | バイタルリード |
| ハスグロ | 田島 享 | コミクリ (スコア 86) |



施策合同勉強会開催

3月18日松江市テクノアークを会場に情報産業協会及びしまねソフト産業ビジネス研究会合同の次年度行政施策の勉強会を40名の参加で開催しました。勉強会ではまず島根県から県の行政施策の説明がありました。なかでも、IT産業振興を島根県の産業振興の柱としてとらえ、施策を展開していくとの話がありました。続いて、しまね産業振興財団及び島根県産業技術センターからIT関連の施策の説明があり、中国経済産業局から、施策の説明がありました。このなかで、産業振興財団しまねソフト開発研究センター（略称ITOC）の研究開発部門を産業技術センターへ移管し、産業振興財団ITイノベーションセンター（略称ITOCは不変）へ変更するとの話がありました。



今回説明会では、いずれの機関の施策説明でもDXの促進が取り上げられていました。DX促進がIT産業振興の大きなテーマとなっていることが明らかでした。

勉強会終了後、80名を超える参加者のもとデジタル化推進セミナーが県主催で開催されました。

協会会員名簿

2026年4月1日現在の協会会員数は次表のとおりです。

| 区分 | 社数 | 本社所在地別 | | 圏域区分 | | | | | | | | |
|------|----|--------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 県内 | 県外 | 安来 | 松江 | 雲南 | 出雲 | 大田 | 江津 | 浜田 | 益田 | 隠岐 |
| 正会員 | 72 | 45 | 27 | 1 | 57 | | 9 | 1 | | 3 | 1 | |
| 賛助会員 | 19 | 5 | 14 | | 18 | | 1 | | | | | |
| 計 | 91 | 50 | 41 | 1 | 75 | | 10 | 1 | | 3 | 1 | |

名簿は次の URL 先をご覧ください。

① 正会員 <https://www.shia.or.jp/members/sei/>



② 賛助会員 <https://www.shia.or.jp/members/sanjiyo/>



編集後記

(旧事務局長から)

平成26年度から協会事務局長職を預かってきた山根泉です。この3月末を持って職を辞することにいたしました。この間、協会活動に対する皆様の大変深いご理解とご協力を頂きましたこと、改めて心から御礼申し上げます。有難うございました。

新しい事務局体制のもと、益々発展されることをお祈りいたします。

(中島哲新事務局長から)

前事務局長が十二年にわたり協会の基盤を丁寧に築いてこられたことに、心より敬意を表します。その歩みを静かに引き継ぎつつ、島根県の情報産業がさらに発展していくための一助となれるよう、微力ながら尽力してまいります。